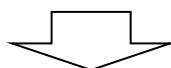


# 高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画における地域課題に対する取り組み状況

高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画に掲載した地域課題について、課題分類別の進捗状況及び計画期間中（令和2年度末）の達成見込み並びに次期計画に向けての方向性を以下のとおり取りまとめる。

## 1 認知症関連（認知症の方が在宅生活を継続するために）

不足している社会資源（課題）		計画期間中（H30～R2）の取組																																						
<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症の早期発見・早期治療につなげる体制の構築</li> </ul>	⇒	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症初期集中支援チームの立ち上げ（医師によるアウトリーチも可能）（H30.4.1 設置） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">件数</th> </tr> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>窓口チーム訪問</td> <td>49</td> <td>48</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クリニックチーム訪問</td> <td>3</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医師訪問</td> <td>3</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>55</td> <td>48</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>認知症初期相談窓口の開設（H30.4.1 開設） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">被相談者実人数</th> </tr> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数（ ）内は新規</td> <td>100</td> <td>129(119)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内) 初期集中支援チーム扱い</td> <td>43</td> <td>18(7)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>認知症地域支援推進員の設置（H30.4.1 設置） 介護福祉課に常勤保健師を配置</li> <li>もの忘れ予防検診（認知症検診）の実施（R2.10.1 開始） 65歳以上を対象として市内12ヶ所の医療機関で実施</li> </ul>	項目	件数			H30	R1	R2	窓口チーム訪問	49	48		クリニックチーム訪問	3	0		医師訪問	3	0		合計	55	48		項目	被相談者実人数			H30	R1	R2	相談件数（ ）内は新規	100	129(119)		内) 初期集中支援チーム扱い	43	18(7)	
項目	件数																																							
	H30	R1	R2																																					
窓口チーム訪問	49	48																																						
クリニックチーム訪問	3	0																																						
医師訪問	3	0																																						
合計	55	48																																						
項目	被相談者実人数																																							
	H30	R1	R2																																					
相談件数（ ）内は新規	100	129(119)																																						
内) 初期集中支援チーム扱い	43	18(7)																																						
<ul style="list-style-type: none"> <li>徘徊している方を早期発見する仕組み作り</li> <li>地域における認知症の正しい理解の推進と見守り体制の構築の支援</li> </ul>	⇒	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存サービス(徘徊探索)の活用、周知の徹底</li> <li>認知症サポーター養成講座の実施 H19～R1 年度の実績：231 回開催、7,634 人受講 受講者へのフォローアップ研修及び活躍の場の提供について検討中</li> <li>H30 年度実績：26 回開催、1,184 人受講 R1 年度実績：19 回開催、601 人受講 R2 年度実績：回開催、人受講</li> </ul>																																						
<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症カフェが少ない</li> </ul>	⇒	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内3ヶ所目の認知症カフェを精神障害者施設との連携により市庁舎内1階喫茶コーナーに平成30年10月より開設。毎月第3水曜日13:00～15:00に開催 令和2年10月現在、市内4ヶ所に開設。</li> <li>民間カフェとの協働による開催を模索。町田市におけるスターバックスコーヒーとのコラボによる認知症カフェを視察し本市における民間とのコラボの形式を検討中。</li> </ul>																																						
<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミだし支援 ※当初は認知症の方への支援として課題にあげたが、高齢者全体の課題でもあることから、そのような取扱いとした</li> </ul>	⇒	<ul style="list-style-type: none"> <li>田中町住宅をモデル地区として65歳以上の住民を対象としたアンケートを令和元年6月に実施(645 通発送、344 通回収)この結果をもとに高齢者のニーズを分析し、当該地区にて報告会及び懇談会等(計4回)を開催し、今後の取り組み方針を決める。令和3年度中に、地域に密着した高齢者支援組織の立ち上げにむけ調整中。</li> <li>都営中神第3アパートをモデル地区として選定し、自治会長、住民に対して調査を実施。令和元年度に自治会長が変更。新会長と顔の見える関係を築き自治会役員とも協議を進めている。</li> </ul>																																						

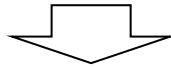


## 【今後の取り組み】

高齢化社会において、認知症は社会的な課題であり次期計画においても引き続き取組を推進する。

## 2 移送関連（高齢者の引きこもりを防止し、外出機会を向上するために）

不足している社会資源（課題）		計画期間中（H30～R2）の取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン、体操教室、銭湯などへの近場の外出時に気軽に利用できる交通手段</li> <li>・介護施設・病院への移送、施設内での移動支援</li> <li>・外出時のサポート</li> </ul>	⇒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他市の取組なども調査し、本市において実現可能な方法を検討したものの、多くの高齢者が望む「出かけたときに、行きたい場所へ、安価（無料）な料金で」という移送サービスを地域資源やボランティアにより実現することは困難であるとの結論となる。</li> <li>・病院によっては独自に送迎サービスを行なっている →情報を集約し広く市民に提供</li> <li>・インフォーマルなサービスとして実施している介護事業所有り。ゴミだし支援と同様で、地域に密着した高齢者支援組織が地域に立ち上がることで実現可能か。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Aバスの路線拡大</li> </ul>	⇒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度中に1路線増設。しかしながら、高齢者の移送問題の抜本的な解決には至らない。 →Aバスでは高齢者が望む移送手段としてのニーズを満たすことはできない。</li> </ul>



## 【今後の取り組み】

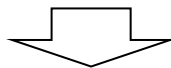
引き続き、好事例等の情報収集に努めるとともに、目的地（サロン等）を徒歩圏内に充実していくなど、移送自体を不要とするなど発想の転換も必要である。また、介護事業所等の民間企業の協力についても、どのような手法が可能であるか調査研究を継続する。

## 3 活動の場の充実（市民が活動する場を提供するために）

不足している社会資源（課題）		計画期間中（H30～R2）の取組																																											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンの充実 (理学療法士がいて運動できるサロン、保健師や栄養士などがいて専門的な支援が受けられるサロンなど)</li> </ul>	⇒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域リハビリテーション活動支援事業の実施（H30.6） 主に65歳以上のメンバーで構成されているサロン実施団体などを対象に専門職（作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、保健師、看護師、薬剤師、栄養士等）を無料で派遣しサロン活動等の活性化を図った。 ※派遣時間は1時間程度/回 ※派遣回数は2回程度/年</li> </ul> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣団体数</td> <td>14</td> <td>21</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職 種</th> <th colspan="3">派遣回数</th> </tr> <tr> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作業療法士</td> <td>4</td> <td>5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>7</td> <td>7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>言語聴覚士</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>0</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>1</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>14</td> <td>21</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H30	R1	R2	派遣団体数	14	21		職 種	派遣回数			H30	R1	R2	作業療法士	4	5		理学療法士	7	7		看護師	1	4		言語聴覚士	1	1		薬剤師	0	2		管理栄養士	1	2		合 計	14	21	
	H30	R1	R2																																										
派遣団体数	14	21																																											
職 種	派遣回数																																												
	H30	R1	R2																																										
作業療法士	4	5																																											
理学療法士	7	7																																											
看護師	1	4																																											
言語聴覚士	1	1																																											
薬剤師	0	2																																											
管理栄養士	1	2																																											
合 計	14	21																																											

当日差替え (P-2 地域リハビリテーション活動支援事業 R1 派遣回数訂正)

		・サロンの立ち上げ支援講座の実施			
		開催日	対 象	参加人数	内 容
		H31.3.7	サロン運営者向け講座	10	チラシ作り講座
		H31.3.29	サロン開始者向け講座	14	地域の居場所づくり講座
R2.2.20	サロン開始者及び運営者向け講座	13	サロン運営者によるサロン運営講座		
・ボランティアとしての活動の場	⇒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における助け合い組織の立ち上げ支援。(田中町住宅モデルの普及)</li> <li>・ボランティアセンター(社会福祉協議会)の普及・啓発</li> </ul>			

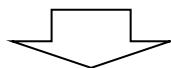


## 【今後の取り組み】

サロンの数は順調に増えている。引き続きサロン立ち上げ支援に注力し高齢者の集いの場の充実を図っていく。また、今後は、地域をより細かく分析することでサロンの空洞地域を無くして行く。ボランティアについては、地域における助け合い組織の立ち上げの支援が、ボランティア活動を希望する方の受け皿として機能すると考えられることから、それらの取組と総合的に取組むことで地域の活性化にも寄与していくものとする。

## 4 男性高齢者の課題(男性介護者をサポートするために)

不足している社会資源(課題)		計画期間中(H30~R2)の取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性高齢者(介護者)の集いの場(男性介護者に対する、料理教室や介護の知識など気軽に学び情報交換のできる場所)</li> </ul>	⇒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性高齢者(介護者)の集いの場の開設として、介護を終え、深い悲しみから立ち直るためのグリーンケアを必要とする方が集える場 <ul style="list-style-type: none"> <li>→「グリーンと向き合うつどい」の開催(R2.5月より、月1回の定例会として開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防の観点から7月より開催。</li> </ul> </li> <li>・既存の男性介護者向け教室の開催情報や男性も気軽に参加できるサロン活動の情報を広く周知する <ul style="list-style-type: none"> <li>→ホームページの充実、広報あきしまへの掲載を通じて積極的な情報発信</li> </ul> </li> </ul>



## 【今後の取り組み】

男性高齢者のみならず、介護者の負担軽減、相談の窓口、情報交換の場の提供は、引き続き充実を図る必要がある。サロンを中心に地域における支援体制の構築や、介護事業所等からの情報収集にも努め介護者が必要とする集いの場や教室等を実施していく。